

【重点課題】 <つながり合える子>

- ・人権に関する知的理解を深める
- ・「人権感覚」の育成

すべての子どもが安心できる居場所をつくる。
「自分がされていやなことは人にしない 言わない」

★あいさつ・整理整頓・清掃・正しい姿勢・・・

- ・言葉遣いやマナー、ルールは大人が自らの行動で示す。
- ・学校、学年でルールの共通理解をはかる。
- ・常に、学校運営にかかわることや子どもの情報を教職員全員で共有する。
- ・年間を通じて全教職員が授業を公開し合い、授業力の向上を目指す。
- ・家庭、地域とのつながりを大切にし、ともに子どもを育てていく。

- 校内生指支援委員会（年間を通して）
- 配慮を要する児童報告会（5月・2月）
- いじめアンケート（年2回）
- 教科研修 ○テレビ支援教育（6月・1月）
- 支援連絡会（1学期） ○ケース会議
- 学校教育自己診断

～ 人と出会う・人とふれあう・人とつながる ～

【人権目標】

多様な人たちのよさやすばらしさに触れ、自分のよさ・他者のよさが分かり、ともに生きる力を身につける。

【具体的な取り組み】

- 交流→学年間（学年集会、交換授業、合同授業、シャッフル授業、部分的教科担任制…）
 - 異学年（フレンドタイム、1・2年交流や合同遠足、6年生ボランティア活動、図書郵便…）
 - 支援学級（支援交流会）
 - 幼稚園・保育園・中学校（幼保小交流、お迎え式、中学校にむけての準備）
 - 地域（出前授業、校区探検・和泉市巡り、福祉・環境・平和・国際理解学習、非行防止教室）
- 行事（遠足、社会見学、林間学校、修学旅行、運動会…、各行事の実行委員活動）
- 学習発表会（音楽会、オペレッタ…）
- 日常生活（みんな遊び、朝の会・帰りの会、係・委員会・当番活動、日記…）
- 通信（学校便り、学年・学級便り、保健便り、給食便り、生指だより、児童会新聞…）
- 朝礼（司会、委員会・クラブ発表、学習発表…）
- 道徳

感動

喜び

笑

授業を通して

- ・子どもが学ぶ、子ども同士が学び合う授業づくり
- ・多くのさまざまな人がかかわる授業づくり
- ・子どもの主体的な考えや活動を大切にする。
- ・基礎、基本「聴く・話す・書く・読む力」を定着する。
- ・体験を重視し、「学習の仕方」を定着させる。
- ・「自分の言葉で語る」コミュニケーション能力を伸ばす。
- ・どの授業の中でも、人権教育を意識する。